


健康・観光・防災機能付きの街歩きアプリ「サノコレ！」

取組開始時期	2021年10月1日	取組の カテゴリー	⑧健康福祉	応募部門 (○を付ける)	○	PF会員間連携部門	一般部門
--------	------------	--------------	-------	-----------------	---	-----------	------

1. 団体名	リアルワールドゲームズ株式会社	2. 連携先の 団体	◎佐野市、一般社団法人スマートソサエティファウンデーション
--------	-----------------	---------------	-------------------------------

3. 取組 目的	佐野市民の健診受診率と避難訓練の参加率が低いという課題を解決したい	4. 関連する ゴール	
-------------	-----------------------------------	----------------	---

5. 取組経緯

地方創生SDGs官民連携プラットフォームの「地方創生を推進する」分科会に参加する中で、そのメンバーである佐野市が抱えている市民の健診受診率と避難訓練の参加率が低いという課題を知り、弊社のウォーキングアプリを解決策として提案し、業務提携を締結した。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

「サノコレ！」は街中に現れるアイテムを収集しながら歩くことで素敵なプレゼントがもらえるアプリである。市民が楽しみながら歩いて健康になったり、災害に備えた避難ルートを学んだりできる新しい取り組みである。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・市民がウォーキングゲームを楽しみながら歩いて健康になる。
- ・災害に備えた避難ルートを学ぶことでより安心して暮らせる。
- ・街歩きを通じて、まちの新しい魅力を発見し、QOLが上がる。
- ・DXを通じてコストの削減を実現し、エコな活動である。

ステークホルダーとの連携

佐野市にヒアリングすることで、市民のニーズをより正確に把握できた。そして佐野市と共に宣伝を行った結果、より多くの市民に「サノコレ！」を知ってもらい、使ってもらった。

モデル性・波及性

- ・住民の健康・観光・防災に関するニーズを一つのアプリで解決したという意味でモデル性がある。
- ・現在佐野市周辺の避難所で顔認証と自動検温の機能を実装し、避難所の混雑状況のリアルタイムでの表示を実現した。これによって、今までアナログで記録・管理したものがDXに切り替え、コストを大幅に削減できた。そしてこのシステムを活用すると、観光地や他の商業施設の混雑状況の可視化も実現可能である。

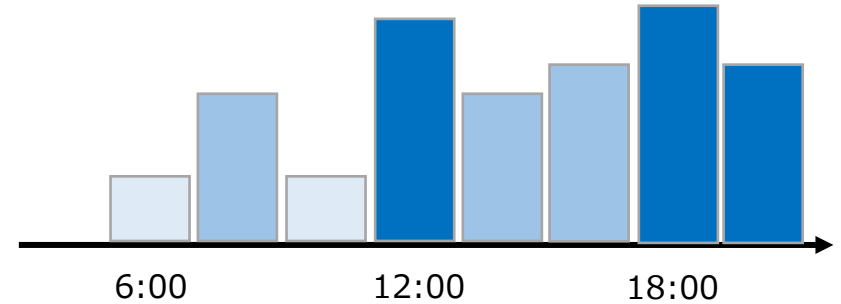
7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

成果①：6000歩/日を達成するとポイントが貯まり、景品に応募出来る仕組み



今後の方向性：歩くDXをより広い範囲で運用

例①：観光地や商業施設の混雑状況の可視化



成果②：シビックテック（市民の力）で集めたスポット20万件



※現在佐野市でも、市民の方に沢山のスポットデータを集めて頂いています。

confidential

例②：健康・観光・防災をワンアプリで提供するサービスを他の自治体に横展開

サービス内容 ～「健康・防災・観光」一体提供～

- ・3D地図基盤を活用してヒト・モノ・コトを可視化して繋ぐ

3D地図エンジン
「TERRA」

健康
・楽しく歩くをサポート歩くモチベーションを上げる

防災
・歩くことで人々の脳内マップを充実させ迅速な避難を実現
・災害時は避難アプリ迅速な情報共有

観光
・観光資源をデジタル化し新たな楽しい体験を創出
・非対面・非接触イベントの運営をサポート

9

confidential